

息を呑む絶景。日本一美しい棚田を走るマラソン大会 星峠雲海マラソン、8月19日(日)午前4時半に開催

星峠雲海マラソン

大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2018

コンセプト

大地の芸術祭とは

大会要項

スタッフ

星峠雲海マラソン通信

エントリー

スポンサー

ボランティア

コンタクト

星峠 雲海マラソン

世界最大規模の国際芸術祭「越後妻有アートトリエンナーレ大地の芸術祭2018」の作品として「星峠雲海マラソン」の第一回大会が2018年8月19日(日)に開催されます。元マラソン日本代表の加納由理、元競歩日本代表の吉澤永一がクリエイターの成瀬拓也と大会をプロデュースします。

日の出前にスタートし、朝陽が昇る頃に雲海が広がる星峠の棚田を見下ろせる場所がゴールです。後継者不在で棚田存続の危機にある現状を「走ること」、「味わうこと（ゴールでおむすびを食べる）」、「交わること（地域との交流）」を通して知ってもらい、地方創生について関わり方を考えてもらいたいと思っています。

■ 星峠雲海マラソン大会要項

大会名：星峠雲海マラソン（公式サイト：<https://hoshitoge.run/>）

開催日：2018年8月19日（日）

スケジュール：3時00分 会場オープン（松代地域 奴奈川キャンパス）

4時00分 オープニングイベント（松代地域 奴奈川キャンパス）

4時30分 6kmマラソンスタート

5時04分 日の出

6時30分 エンディングイベント（松代地域 奴奈川キャンパス）

主催：加納由理・成瀬拓也・吉澤永一

種目：6km（奴奈川キャンパスから星峠の棚田の頂上までの片道約6km）

参加資格：往復12kmを走りきれ体力を有する男女18歳以上

参加費：5,000円（エントリー締切済）

大会会場：松代地域 奴奈川キャンパス（新潟県十日町市室野576）

■ 星峠雲海マラソンの4つの特徴

① 世界最大規模の国際芸術祭「大地の芸術祭」の作品として初めてのマラソン大会



② 元マラソン日本代表の加納由理と元競歩日本代表の吉澤永一とクリエイター成瀬拓也がプロデュース



③ 日の出前の早朝にスタートし、星峠の頂上の棚田と雲海が広がるゴールを目指す



④ 存続の危機にある棚田の保全活動をマラソンを通して多くの人に知ってもらう



■ 本件に関するお問い合わせ先

星峠雲海マラソン大会 プロデューサー 吉澤永一

TEL : 03-6380-9551 (平日10:00~17:00)

Email : event-tyo@srcjapan.com

星峠雲海マラソン問い合わせフォーム : <https://hoshitoge.run/contact/>

取材テーマ (例) :

- ・ 絶景の星峠雲海マラソン全貌
- ・ マラソンによる地方創生への挑戦
- ・ アート作品としてのマラソン大会とは
- ・ マラソン大会の勝ち組と負け組
- ・ トップアスリートのセカンドキャリア
- ・ マラソン大会を盛り上げる秘訣
- ・ なぜ限界集落に人は魅了されるのか
- ・ マラソンもインスタ映え時代

大会前、大会本番、大会後、取材対応は全てプロデューサー自らが行います。また、大会主催側で撮影した大会当日の写真および動画の素材は使用目的が本大会の主旨に沿う場合は無償で提供させていただきます。